

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名【新】「清流の国ぎふ」食文化シンポジウム開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 流通企画係 電話番号：058-272-1111(内4062)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,327 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,327	0	0	0	0	0	2,406	0	921
決定額	2,406	0	0	0	0	0	2,406	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

東西食文化の結節点である本県で「清流の国」文化祭2024が開催されるのに合わせて、県内外から学識経験者や専門家を参集し、本県の郷土料理や伝統食材、国内外の食文化と食育に関するシンポジウムを開催し、郷土料理や食文化に関する知見を広め、これを継承し発展的な活用が図られるよう啓発をする。

(2) 事業内容

- ・ 著名人、学識経験者による講演
- ・ 著名人、学識経験者によるパネルディスカッション
- ・ 郷土料理、食文化に関するPRブース、試食コーナー

(3) 県負担・補助率の考え方

本県で開催される「清流の国」文化祭2023の関連事業として位置付けており、県が開催経費を負担することは妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	2,100	著名人2 × 教授2
旅費	278	費用弁償75 業務旅費 203
需用費	3	消耗品費
役務費		
委託料	946	展示・試食イベント718 印刷228
使用料		
補助金		
その他		
合計	3,327	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

6-1-(2)-①地産地消県民運動の展開

○地域資源を活用した6次産業化の推進

(2) 国・他県の状況

農林水産省が郷土料理の選定・調査記録・地域普及活動を3か年で実施

(3) 後年度の財政負担

岐阜の「食」資源発掘活用事業に統合

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：岐阜県

本県で開催する「清流の国」文化祭2024において、県主催事業として開催する計画であるため、県が事業主体となることは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

伝統食材や郷土料理など地域に伝わる食文化を活かした生活をする人の割合が増加させる他、地産地消の促進、及び県内外の消費者の県内誘客につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

本事業は国民文化祭の県内開催に合わせて実施する単年度事業であるため

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>指標① 目標： % 実績： % 達成率： %</p>
令和3年度	<p>指標① 目標： % 実績： % 達成率： %</p>
令和4年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>地域に伝わる伝統食材や郷土料理などの食文化を再認識する取り組みや、情報発信による県内誘客促進は、農家の所得向上と地域活性化につながるため、県の取り組みとして必要。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	/
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価)	/

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 高齢化が進み、伝統食材の生産者や郷土料理などの食文化の伝承者は減少傾向にあるため、これらの「食」資源について、その魅力を再認識し、保護・継承を図る必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 伝統食材や郷土料理などの「食」資源の魅力再発見と活用促進、情報発信については、地産地消の促進や県内誘客につながるよう継続する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	